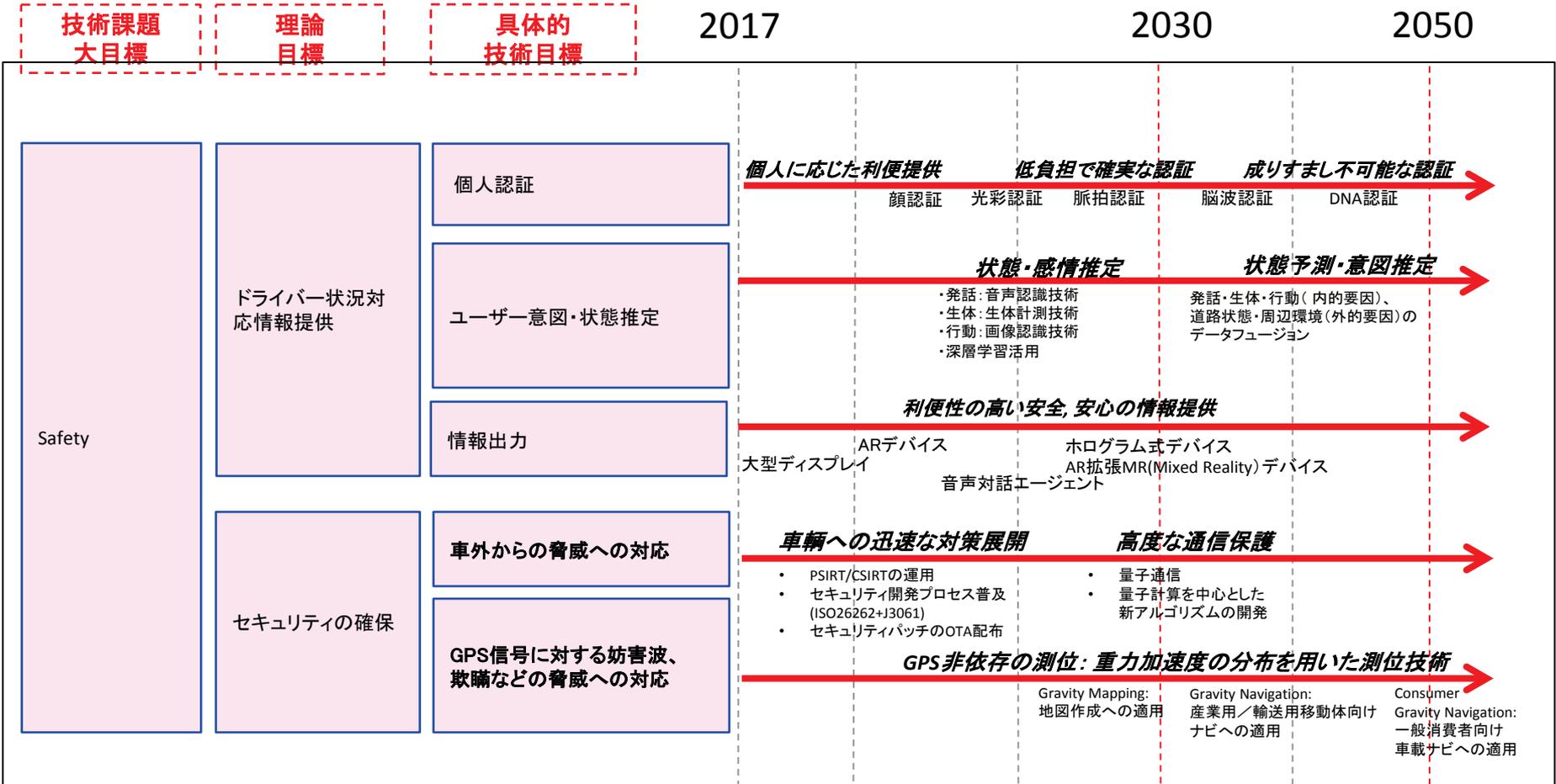


26_マルチメディア部門委員会_1

扱っている技術テーマ：

- ①「安心」「安全」を意識したVR技術 / ②クルマのつながる技術のセキュリティ /
 ③つながる技術 / ④HMI / ⑤ディープラーニング / ⑥認識技術 / ⑦クラウドと連携した新規サービス



26_マルチメディア部門委員会_2

扱っている技術テーマ：

- ①「安心」「安全」を意識したVR技術 / ②クルマのつながる技術のセキュリティ /
 ③つながる技術 / ④HMI / ⑤ディーラーニング / ⑥認識技術 / ⑦クラウドと連携した新規サービス

技術課題 大目標	理論 目標	具体的 技術目標	2017	2030	2050	
低燃費	環境に対応したクルマの流れを実現	プローブ利用	交通渋滞予測	交通流群制御		
	エコ運転をサポートする情報提供	地図情報を用いたパワートレイン・充放電制御	勾配考慮制御 勾配回避(EV) 3次元地図 総延長約3万km	勾配・交通情報を考慮した最適制御 隊列走行 車群最適制御 3次元地図 総延長約35万km		
		運転分析・省燃費運転アドバイス	車両挙動のスムーズ度 CANデータ	信号、一時停止、標識の順守度 前方カメラ	周囲確認行動 車内カメラ	
快適性	その時必要な情報を高鮮度で提供	モバイル通信技術	緊急自動通報義務化開始	5G通信(20Gbps)、V2X 車載通信機の普及	6G通信	
		放送技術	ハイゾ放送 高精細映像技術	4k車載搭載 大容量伝送技術	8k車載搭載 立体映像放送 立体映像技術	
		演算・情報処理デバイス	車室内画像入力サービス ディーラーニング	複数乗員との同時対話サービス 話者分離 5G通信対応クラウドコンピューティング	仮想情報空間移動サービス(*) 量子コンピューティング	

(*)例：移動先で、その地点にまつわる情報(自身や親族の過去のできごと、歴史上の記録など)を自動的に提示する

補足説明：

要素技術と提供機能(できること)双方のロードマップが考えられるが、マルチメディア部門委員会で扱う技術領域は技術の進化とともに提供機能自体が大きく変わることが特徴であるため、提供機能についての進化を中心に記載